

2020 年度 情報処理学会 東海支部報告会

日時：2020 年 5 月 21 日(木) 15:00～15:50
会場：メール審議

報告事項

- 1 2019 年度事業報告
- 2 2019 年度決算報告
- 3 2020 年度運営委員会改選結果報告
- 4 2020 年度運営委員
- 5 2020 年度事業計画
- 6 2020 年度予算
- 7 その他

添付資料

- 資料① 2019 年度会議日程
- 資料② 2019 年度連合大会資料
- 資料③ 2019 年度主催講演会一覧
- 資料④ 2019 年度研究会等協賛・後援一覧
- 資料⑤ 2019 年度学生研究発表助成
- 資料⑥ 2019 年度学生論文奨励賞選定結果
- 資料⑦ 2019 おもしろ科学教室結果報告

一般社団法人情報処理学会東海支部

【事務局】 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7 階
公益財団法人中部科学技術センター内
Tel: (052) 231-3564 E-mail: Shibu@ipsj-tokai.jp
<http://www.ipsj-tokai.jp/>

1. 2019年度事業報告

1.1 支部報告会（詳細は資料1参照）

計画：1回 実績：1回

1.2 運営委員会（詳細は資料1参照）

計画：3回 実績：3回

※当年度第3回と次年度第1回は共同開催

1.3 幹事会（詳細は資料1参照）

計画：5回 実績：5回

1.4 支部大会（電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として主催）

計画：1回 実績：1回

※詳細は資料2参照

1.5 主催講演会

計画：6回 実績：6回

※詳細は資料3参照

1.6 研究会等 協賛・後援

計画：随時 実績：10回（協賛、後援）

※詳細は資料4参照

（学生向け事業）

1.7 学生研究発表会助成

計画：1件 実績：1件

※詳細は資料5参照

1.8 学生論文奨励賞

計画：1回 実績：1回 表彰者 6名

※詳細は資料6参照

（若年層向け事業）

1.9 おもしろ科学教室

計画：1回 実績：1回 子供参加者 134名

第12回おもしろ科学教室

開催日：令和2年1月13日（月）祝日 会場：名古屋大学

※詳細は資料7参照

1.10 ジュニア会員制度

小中高校生、高専生、大学学部1～3年生 対象、会費無料

URL <https://www.ipsj.or.jp/member/junior.html>

2. 2019年度収支報告

1. 収入の部

(単位: 円)

収入科目	2019年度	
	予算額	決算額
(1) 交付金	3,205,000	3,075,000
本部交付金	2,465,000	2,335,000
賛助金還元分	540,000	540,000
本部助成金	200,000	200,000
(2) 連合大会収入	876,000	948,317
(3) 助成金	60,000	50,000
(4) 雑収入	0	0
年度収入計(A)	4,141,000	4,073,317

2. 支出の部

(単位: 円)

支出科目	2019年度	
	予算額	決算額
(1) 事業費	1,643,000	1,397,021
支部大会(連合大会)費	1,067,000	1,015,169
講演会・研究会費	338,000	207,108
支部助成金費	100,000	42,220
支部表彰費	94,000	93,284
おもしろ科学教室	7,000	0
かがくであそぼ広告掲載費	37,000	39,240
(2) 管理費	2,240,000	2,123,789
年次報告会費	237,000	224,570
会議費	112,000	48,724
事務委託費	1,818,000	1,817,574
通信費	10,000	0
消耗品費	7,000	1,026
雑費	56,000	31,895
年度支出計(B)	3,883,000	3,520,810

3. 収支

(単位: 円)

支出科目	2019年度	
	予算額	決算額
単年度収支(A-B)	258,000	552,507
前年度累積収支(繰越金)	2,186,572	2,186,572
累積収支(翌年度への繰越金)	2,444,572	2,739,079

3. 2020年度支部運営委員改選結果報告

選挙期間：2020年2月1日～2020年 2月27日

A：投票用紙発送数 1,085件（1月現在会費納入済の正会員および名誉会員）

B：投票数 238票

C：投票率 [B/A] 22.0%

D：開票結果

役 職	候補者氏名	得票数
支 部 長	間瀬 健二	222
副支部長	松田 信之	214
幹 事	梶 克彦	211
〃	稲森 豊	205
〃	笹野 遼平	210

E：候補者以外の選定※

支部長：田口 亮(名工大) 1票

退任者

支部長 大島 哲也（元）トヨタコミュニケーションシステム）

副支部長 間瀬 健二（名古屋大学）

幹 事 鈴木 秀和（名城大学）

幹 事 鳥居 豊（デンソーITソリューションズ）

幹 事 森崎 修司（名古屋大学）

留任者

幹 事 奥田 隆史（愛知県立大）

幹 事 田口 亮（名古屋工業大学）

幹 事 鈴木 康人（中部電力）

以上

※2020年度代表会員（東海支部から2名）：大島支部長・田口幹事）

4. 2020年度東海支部運営委員

*新任、**再任、無印2年目

支部長	*	間瀬 健二	名古屋大学
副支部長	*	松田 信之	中電シーティーアイ
幹事	*	稲森 豊	豊田中央研究所
幹事		奥田 隆史	愛知県立大学
幹事	*	梶 克彦	愛知工業大学
幹事	*	笹野 遼平	名古屋大学
幹事		鈴木 康人	中部電力
幹事		田口 亮	名古屋工業大学
委員		浅井 徹	あいち産業科学技術総合センター
委員	**	伊藤 孝行	名古屋工業大学
委員		伊藤 憲生	OKI ソフトウェア
委員	**	稲垣 宏	豊田工業高等専門学校
委員		枝廣 正人	名古屋大学
委員	**	小笠原 秀美	中京大学
委員		粕谷 英人	愛知県立大学
委員	**	上口 光	信州大学
委員	*	鈴木 優	岐阜大学
委員	**	杉浦 宏幸	中部電力パワーグリッド
委員		鈴木 幸太郎	豊橋技術科学大学
委員		玉森 聡	愛知工業大学
委員	*	玉野井 太	デンソー
委員		坂野 秀樹	名城大学
委員	**	深谷 宏一	メイテツコム
委員		増澤 智昭	静岡大学
委員	*	村井 裕之	トヨタ自動車
委員	*	山田 俊行	三重大学
委員		山本 一公	中部大学
委員		横山 哲郎	南山大学

5. 2020年度事業計画

新型コロナウイルスの問題がある場合、会議はメール審議または Web 会議で実施する。

5.1 支部報告会

計画：1 回

5.2 運営委員会

計画：3 回

※当年度第 3 回と次年度第 1 回は共同開催。

5.3 幹事会

計画：5 回

5.4 支部大会（電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として主催）

計画：1 回

5.5 主催講演会

計画：6 回

※コロナの影響を受けて中止の場合あり。

5.6 研究会等協賛・後援

計画：随時

※主催計画はなく、随時協賛・後援等を行う。

(学生向け事業)

5.7 学生研究発表会助成

計画：2 件

5.8 学生論文奨励賞

計画：1 回

(若年層向け事業)

5.9 おもしろ科学教室

計画：1 回

5.10 ジュニア会員制度

「ジュニア会員制度」を支部事業の機会あるごとに周知する。

6. 2020年度予算(案)

1. 収入の部

(単位:円)

収入科目	2019年度		2020年度
	予算額	決算額	予算額
(1) 交付金(*1)	3,205,000	3,075,000	2,909,000
本部交付金	2,465,000	2,335,000	2,169,000
賛助金還元分	540,000	540,000	540,000
助成金	200,000	200,000	200,000
(2) 連合大会収入	876,000	948,317	878,000
(3) 助成金	60,000	50,000	60,000
(4) 雑収入	0	0	0
(A) 年度収入計	4,141,000	4,073,317	3,847,000

(*1)2020年度より算定方法が変更になったことから約30万円の減額となった

2. 支出の部

(単位:円)

支出科目	2019年度		2020年度
	予算額	決算額	予算額
(1) 事業費	1,643,000	1,397,021	1,602,000
支部大会(連合大会)費	1,067,000	1,015,169	1,009,000
講演会・研究会費(*2)	338,000	207,108	306,000
支部助成金費	100,000	42,220	100,000
支部表彰費	94,000	93,284	95,000
おもしろ科学教室(*3)	7,000	0	57,000
かがくであそぼ広告掲載費	37,000	39,240	35,000
(2) 管理費	2,240,000	2,123,789	2,222,000
年次報告会費	237,000	224,570	227,000
会議費	112,000	48,724	102,000
事務委託費	1,818,000	1,817,574	1,835,000
通信費	10,000	0	0
消耗品費	7,000	1,026	4,000
雑費	56,000	31,895	54,000
(B) 年度支出計	3,883,000	3,520,810	3,824,000

(*2)2019年度は結果的に講師謝礼や旅費が少なかったが予算としては満額で計上

(*3)2019年度は繰越金の余剰で賄われたため協賛金が無かったが2020年度は計上

3. 収支

(単位:円)

支出科目	2019年度		2020年度
	予算額	決算額	予算額
単年度収支(A-B)	258,000	552,507	23,000
前年度累積収支(繰越金)	2,186,572	2,186,572	2,739,079
累積収支(翌年度への繰越金)	2,444,572	2,739,079	2,762,079

※ただし、新型コロナウイルスへの対応のため状況に合わせ臨機応変に計画を見直ししながら進める。

2019年度支部報告会・運営委員会・幹事会日程

資料 1

会議名		開催日		時刻	場所	参加人数	参加者
支部報告会 (支部報告20分) (本部報告30分)		2019/5/20	(月)	15:00～15:50	ホテル ルブラ王山	32名	旧年度支部役員、当年度支部役員、 旧年度運営委員、当年度運営委員、事務局、一般会員
運営委員会	旧年度第3回 当年度第1回	2019/5/20	(月)	14:00～14:45	ホテル ルブラ王山	28名	旧年度支部役員、当年度支部役員、 旧年度運営委員、当年度運営委員、事務局
	当年度第2回	2019/11/25	(月)	14:00～15:00	東桜会館	20名	当年度支部役員、当年度運営委員、事務局
	当年度第3回 翌年度第1回	2020/5/21	(木)		書面開催		当年度支部役員、翌年度支部役員、 当年度運営委員、翌年度運営委員、事務局
幹事会	第1回	2019/4/5	(金)	17:00～19:30	トヨタシステムズ 伏見	14名	旧年度支部役員、当年度支部役員、事務局
	第2回	2019/6/18	(火)	17:00～19:00	名古屋大学 IB電子情報館 南棟3F379	10名	当年度支部役員、事務局
	第3回	2019/10/23	(水)	17:00～19:00	名古屋大学 IB電子情報館 南棟3F362室	9名	当年度支部役員、事務局
	第4回	2019/11/13	(水)	17:00～19:45	名古屋大学 IB電子情報館 南棟3F362室	10名	当年度支部役員、事務局
	第5回	2020/2/21	(金)	15:30～17:00	名古屋大学 IB電子情報館 南棟3F379	10名	当年度支部役員、事務局
学生論文 奨励賞 選定委員会	2018年度	2019/4/11	(木)	18:00～19:10	名古屋大学 IB電子情報館 南棟4F462	10名	(前年度) 1 委員長 + 9 委員 + 事務局
	2019年度	2020/4/15	(水)	18:00～20:00	zoom開催	11名	(当年度) 1 委員長 + 9 委員 + 事務局
連合大会主担当 委員会 (企画会議)	2019年度	第5回幹事会同日 2020/2/21	(金)	17:00～18:30	名古屋大学 IB電子情報館 南棟3F379	14名	(当年度+次年度) 1 委員長 + 9 委員 + 実行委員長+事務局

2019年度支部大会(電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会)概要

1 大会の概要

- (1) 期日：2019年9月9日（月）～10日（火）
- (2) 会場：大同大学
- (3) 主担当学会：電気学会東海支部
- (4) 主催：電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、
照明学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、
IEEE名古屋支部

共催：電気設備学会中部支部、大同大学

(5) 催事内容

・特別講演：1件

演 題：「我々は希土類鉄時代に向かっている」

講 師： インターメタリックス株式会社 代表取締役、大同特殊鋼顧問 佐川 真人 氏

・企画セッション：

(電気) 「東海地区のモータドライブ技術 I, II」

「次世代パワー半導体と高周波電力変換技術」

「新しい研究分野としての”需要科学”の提案」

「次世代パワーエレクトロニクスとモデリング技術」

「東海地区のモータ研究開発動向」

「磁気とモータ駆動システム I, II」

「パワーエレクトロニクスの電力システム応用と要素技術」

(電子) 「電磁波・レーザー・集積回路」

(情報) 「Society 5.0実現に向けたIoT/IoEシステム・サービス」

「深層学習は何を見ているか？～経路予測と経路生成、その判断根拠について～」

・一般講演 460件（オーラル：396件、ポスター：64件）

（平成30年度437件、平成29年度448件、平成28年度490件、平成27年度597件、平成26年度563件）

・企業展示 5社

（平成30年度展示無し、平成29年度3社、平成28年度5社、平成27年度4社、平成26年度12社）

・広告・援助企業数 35社

（平成30年度22社、平成29年度38社、平成28年度34社、平成27年度31社、平成26年度49社）

・特別講演参加者数 83名

（平成30年度72名、平成29年度50名、平成28年度76名、平成27年度130名、平成26年度260名）

・懇親会参加者数 55名

（平成30年度50名、平成29年度75名、平成28年度81名、平成27年度96名、平成26年度119名）

・大会参加者数 889名

（平成30年度512名、平成29年度800名、平成28年度945名、平成27年度1036名、平成26年度1255名）

(6) 奨励賞

審査希望申請者数：計261名

（平成30年度309名、平成29年度321名、平成28年度327名、平成27年度488名、平成26年度439名）

奨励賞選考数：計26件 ※奨励賞、電気学会B賞、IEEE学生奨励賞の合計

（平成30年度31名、平成29年度32名、平成28年度33名、平成27年度50名、平成26年度45名）

情報処理学会所属受賞者

連合大会奨励賞：5名（10月中旬選定）（平成30年度7名）

2 情報処理学会東海支部所属の委員

(1) 大会委員会

副委員長：大島 哲也(元)トヨタコミュニケーションシステム)

会計監査：鈴木 康人(中部電力)

(2) 実行委員会

委員：奥田 隆史(愛知県立大) ※次年度開催校

：森崎 修司(名大)

事務局：宮島 和恵(情報処理学会東海支部)

(3) 現地委員会

委員：朝倉 宏一(大同大)

(4) プログラム編集委員会

委員：鈴木 秀和(名城大)・坂野 秀樹(名城大)白松 俊(名工大)・田口 亮(名工大)

3 委員会

(1) 大会委員会

第1回 2019年 4月4日(木) 於 名古屋大学 VBL 3Fミーティングルーム

議題：開催日程・実施概要他

第2回 2019年 8月13日(月)～8月21日(水) メール審議

議題：プログラムの決定

第3回 2020年1月22日(水) 於 ルブラ王山

議題：事業決算報告・奨励賞贈、次回への申し送りなど

(2) 実行委員会

第1回 第1回大会委員会と同時開催

第2回 2019年8月23日(金) 於 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室

議題：大会プログラム

第3回 2019年9月10日(火) 於 大同大学

議題：大会運営、今年度大会の報告・反省・申し送り事項

第4回 第3回大会委員会と同時開催

(3) プログラム編集委員会

2019年7月26日(水) 名古屋大学 先端技術共同研究施設 新館 1階研修室

4 次年度以降の予定

2020年度(令和2年度)

会場校：愛知県立大学

日程：2020年9月3日(木)、4日(金)

主担当学会：情報処理学会東海支部

2021年度(令和3年度)

会場校：愛知工業大学

日程：未定

主担当学会：電子情報通信学会東海支部

以上

情報処理学会東海支部 主催講演会一覧

年度 回数	開催日 担当 会場 参加者数	テーマ（演題） 講師 所属・役職
2019年度	2019/5/20	支部報告会同日開催
1	村瀬	「Society 5.0とモビリティ技術 ～データ駆動型社会がもたらすモビリティの変革～」
累計41名	ルブラ王山 41名	小島 祥子氏 株式会社豊田中央研究所 戦略研究部門 データアナリティクス研究領域 領域リーダー
2	2019/7/18	「光海底ケーブルのひみつ」
累計66名	奥田 愛知県立大学 25名	桑原 淳氏 日本電気株式会社 海洋システム事業部シニアマネージャー
3	2019/9/10	「深層学習は何を見ているか？ ～経路予測と経路生成、その判断根拠について～」
累計116名	森崎(出口) 大同大学 50名	(東海支部連合大会 IEEE ITSS 名古屋チャプタと共催) 山下隆義氏（中部大学）、赤井直紀氏（名古屋大学）、平川 翼氏（中部大学）
4	2019/11/25	第2回運営委員会同日開催
累計148名	鈴木(康) 東桜会館 32名	「NTT西日本グループのサイバーセキュリティへの取り組み」 谷口 貴之 氏 NTT西日本 ビジネス営業本部 クラウドソリューション部
5	2019/12/5	「協力の理論：協力の認知的および数理的原理と応用展開 ー 運動・対話・進化 ー」
累計208名	田口 名古屋工業大学 60名	岩橋 直人氏 岡山県立大学 教授
6	2020/1/16	「エンタープライズ・ブロックチェーンの現状」
累計218名	鳥居 名古屋大学 10名	吉濱佐知子氏 日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 FSS&Blockchain 担当部長

情報処理学会東海支部 研究会等協賛・後援一覧

年度 回数	開催日 分類	行事名 テーマ（演題） 主催者
2019年度	2020年3月11, 12日	ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2020（開催延期）
1	後援	一般社団法人中部産業連盟
2	2019年10月4日	ソフトウェアテストシンポジウム2019東海（JaSST'19 Tokai）
2	協賛	JaSST'19 Tokai実行委員会
3	2019年11月15日	第6回 初歩からの化学工学数学演習講座 ～データ整理手法とディープラーニングの基礎～
3	協賛	公益社団法人化学工学会東海支部
4	2019年12月3日 2019年12月4日	第53回 化学工学の進歩講習会 「最新情報技術活用によるプロセス産業スマート化- AI, IoT, MI の基礎から最前線まで -」
4	協賛	公益社団法人化学工学会東海支部
5	2020年2月5日 2020年2月6日	フロンティア21エレクトロニクスショー2020 「ものづくりを支える最新のエレクトロニクス技術」
5	協賛	中部エレクトロニクス振興会
6	2019年11月2日	第17回情報学ワークショップ(WiNF2019)
6	協賛	第17回情報学ワークショップ実行委員会
7	2019年11月18日	中部支部シンポジウム
7	協賛	一般社団法人プロジェクトマネジメント学会
8	2020年1月17日	第2回一般講演会
8	協賛	電子情報通信学会東海支部
9	2020年2月28日	電子情報通信学会東海支部 専門講習会（開催延期） 『つながるクルマとそれを支える技術』
9	協賛	電子情報通信学会東海支部
10	2020年2月5日 2020年2月6日	ET・IoT Technology NAGOYA 2020／組込み・IoT総合技術展 名古屋
10	後援	一般社団法人組込みシステム技術協会

2019年度学生研究発表会助成

助成募集概要

助成対象となる発表会：2019年3月1日～2020年2月29日の間に開催される研究発表会
複数大学の学生が発表すること。

発表する東海支部学生会員が10名以上。

申請期間：2019年3月1日～2020年2月29日

助成件数・予算額：2件まで（1件あたり5万円以内）

助成金額ガイドライン：参加学生会員1名3千円（申請1件につき上限5万円）。

応募多数の場合は、幹事会での審査により決定。

助成実施

発表会名：第17回情報学ワークショップ（WiNF2019）

発表会実施日： 2019年11月2日（土） 会場：中京大学

申請者(所属)： 目加田 慶人（中京大学）

助成額： 42,000円

以上

2019年度 学生論文奨励賞選定結果

情報処理学会東海支部に所属する学生会員（卒業後1年未満の会員も含む）で、情報処理に関する学問や技術の分野において優秀な成果をあげ、その将来を嘱望される方に学生論文奨励賞を贈呈します。

選定対象：学生論文奨励賞を申請するには、以下の条件が必要です。

- ・学生会員（卒業後1年未満の会員も含む）であること。
- ・2019年度中に情報処理学会の論文誌、情報処理学会が主催または共催する国際会議・全国大会・研究会、シンポジウムのいずれかにおいて、自らの研究成果を第一著者として発表した方であること。応募論文は、情報処理学会の論文誌、情報処理学会が主催または共催する国際会議、全国大会・研究会、シンポジウムに限る。
- ・申請時に満30才以下であること。論文誌については、採録通知があれば対象。

申請期間：2020年1月15日(水)～3月16日(月)

審査期間：2020年3月下旬～2020年4月1日

選定委員会 日時：2020年4月15日（水）18:00～20:00

場所：zoom 開催

選定委員：(敬称略)

委員長：大島支部長

委員：①間瀬副支部長（名大） ②奥田隆史（県立大学） ③鈴木秀和（名城大）、
④鈴木康人（中電） ⑤田口 亮（名工大） ⑥鳥居 豊（デンソーITS）
⑦森崎修司（名大） ⑧笹野遼平（名大） ⑨梶 克彦（愛工大）

応募件数：9件

受賞者：6名

表彰式：新型コロナウイルス感染防止対応のため中止

受賞者：氏名 （申請時所属） 『論文テーマ』

小野瀬 良佑（名大）『布圧力センサを用いた褥瘡予防教育支援システム』

三津原 将弘（中部大）『Attention map を介した Deep Neural Network への人の知見の組み込み』

柳瀬 知広（名城大）『IoT デバイスのための柔軟なホスト名自動生成の提案』

林 宏輔（名城大）『環境情報に基づいて異種規格の IoT デバイス連携をサポートする iHAC Hub』

酒井 恵梨香（名城大）『遠隔地にある PAN デバイスとの直接通信を可能とする VPAN
システムの実装』

四ツ谷 昂亮（愛工大 2019 年 3 月）

『Method to Improve Accuracy of Indoor PDR Trajectories Using a Large
Number of Trajectories.』

以上

2019年度おもしろ科学教室(結果報告)

1 「第12回おもしろ科学教室」の概要

【趣旨】

日本の次世代科学技術を担う青少年の科学啓発等学会連携による地域社会科学技術理解増進活動の推進

【共催・協賛・後援】

共催：応用物理学会東海支部、電気学会東海支部、電子情報通信学会、情報処理学会東海支部、日本アマチュア無線連盟東海地方本部、日本赤外線学会、プラズマ・核融合学会、レーザー学会中部支部、日本弁理士会東海支部、名古屋大学工学研究科、豊田高専、総務省東海総合通信局、愛知県電波適正利用推進員協議会（順不同）

後援：中日新聞社、豊田工業高等専門学校

【具体的内容】

- 1) 対象：小学生、中学生、保護者
- 2) 目的：理科のおもしろさや楽しさを体験し、遊びの中で理科の色々な現象に対する興味関心を持たせることによって理科好きの子供を育てるため、講演会、工作教室、展示を行う。
- 3) 日時：令和2年1月13日（月）祝日、13時から16時00分
場所：名古屋大学 IB 電子情報館
大講義室(300人ほど)及び教室4室(200人まで)
1室50人程度

4) プログラム

第1部

13時00分～13時30分 講演タイトル「ふしぎな立体折り紙」
講師：宮本好信先生（愛工大）

13時30分～14時00分
電子紙芝居（日本弁理士会東海支部）

14時00分～14時30分 休憩・移動

第2部

13時30分～（16時まで継続）展示

電子レンジでカラフルな放電、プラズマボール、③ラズマ・エネルギーに関するクイズなど（以上、プラズマ・核融合学会）、アマチュア無線の公開運用、無線交信体験、モールス符号で遊ぼう（日本アマチュア無線連盟東海地方本部）磁力トレイン他（電波適正利用推進員協議会）、ボーリングロボット（情報処理学会東海支部）、サッカーロボットとAIロボットのミニ体験（豊田高専）、色々な立体折り紙（宮本好信：愛知工業大学）

第3部

14時30分～16時00分 工作教室(予約制：各テーマ30～50名程度)

工作テーマ

- ①「電波でおにごっこ！キツネを探せ！」（小学校1年生以上）定員50名（アマチュア無線連盟）、②「ひらひらチョウを作ろう！」（小学校1年生以上）定員30名（応用物理学会）、③「LED電子万華鏡を作ろう！」（小学校3年生以上）定員50名（日本弁理士会）、④「新素材でおもしろウインカーを作ろう！」（小学校5年生以上）定員25名（日本赤外線学会・レーザー学会中部支部・応用物理学会東海支部）

開催代表者：高井吉明

(応用物理学会東海支部：名古屋大学名誉教授、豊田工業高等専門学校名誉教授)

開催副代表者：生田博志

(応用物理学会東海支部：名古屋大学教授)

事務局：山本真義・仙田克己・吉山総司・宮島和恵（電気学会東海支部）

岩田 鉄・日比野 梓、阿部真紀子（電子情報通信学会東海支部）

生田博志・藤原絢子（応用物理学会東海支部）

森崎修司・宮島和恵（情報処理学会東海支部）

2 情報処理学会東海支部の活動

(1) 参加方法

「主催」として参加

会場担当：森崎幹事

(2) ロボット展示

展示担当：田口幹事

3 当日スケジュール

1) 開館・解錠 9 時

2) 開始前の挨拶・連絡 11:00：本部集合

3) 受付(12:00 から13:00、その後工作開始13:30 まで1名待機)

4) 展示：廊下(12:00 から16:00)

5) 講演会：大講義室(13:00 から13:30)

6) 電子紙芝居：大講義室(13:30 から14:00)

7) 展示見学(コアタイム13:30 から14:30) この後も展示は継続

8) 工作教室(14:30 から16:00)

4 結果・教室実績

全体参加者数：子供参加者 134 名、保護者約 200 名

*展示

ロボット展示（ボーリングロボット）

ジュニア会員チラシ配布

※今年は予算として繰越金などで賄う事とし、応用物理学会以外の各団体からの共催協力金は先送りした。また、今年の講演にちなんで、立体折り紙を参加者に体験して貰った。

5 次回に向けての申し送り事項

反省事項

今回は、若干、工作時間が延長された事もあり、16 時撤収の予定が少し遅くなった。

できるだけ、16 時に撤収出来るよう、ご協力をお願いします。

また、名古屋大学のゴミ分別回収が厳しく、両面テープの保護しを除いて、紙類はほぼリサイクルゴミとして処理し、特にペットボトルなどは持ち帰って貰った。

以下は、気がついた反省事項を挙げる。

1) 「きつねを探せ」については、当日参加への問合せメールは今年は無かった。

2) 工学部のゴミ処理に関する注意が事前にあり、教室内のゴミは主催者側で処理する事を徹底した。

3) 名古屋大学工学研究科の共催を得て実施したが、次年度もお願いする事とする。

4) 予算的な余裕があったのでテキストを印刷したが、可能な限り印刷したい。

5) 展示部コーナーでスタッフが使う椅子は近藤産興から借りずに廊下に置いてある名古屋大学の物や本部の可動椅子を流用する。

以上